



みんなの声が原動力！

原のりひこ

市政レポート 2022.6(No.7)

原のりひこ
公式サイト



Facebook



発行：原 紀彦 岡崎市細川町字さくら台8-3
連絡所：〒471-0832 豊田市丸山町カバハウス 2F
トヨタ自動車労働組合：TEL (0565)24-1111(代)
✉：norihikohara5219@gmail.com



岡崎市議会議員
原のりひこ

【所属委員会等】

- ・文教経済委員会
- ・ゼロカーボンシティ
推進特別委員会
- ・岡崎市国民健康
保険運営議会

日頃より議員活動に対し、深いご理解と温かいご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、令和4年6月定例会で補正予算を含め提出された全議案を可決成立しましたので、主な施策の要旨についてご報告いたします。



令和4年6月 定例会（6月3日開会～6月22日閉会）

通算5度目 一般質問 !! デジタルトランスフォーメーションについて

多くの人に欠かせないデジタル技術を活用したスマートフォンの存在は、今では生活や仕事にも影響を与え、人々の行動すら大きく変化させていると言われています。

今回のテーマ、デジタルトランスフォーメーション（略称DX）とは、具体的にどういうことなのか、皆さんの生活にどのように関わってくるのでしょうか。



デジタルトランス
フォーメーション？



【質問】本市において、デジタル技術に係るおかげで DX ビジョンというものが今年の3月に公表された。策定の背景を伺う。

【回答】令和3年9月には、国全体のデジタル化を主導する「デジタル庁」が創設され、日本のデジタル化に向けた機運が高まっている。本市に

においても、デジタル技術の浸透により、市民生活をより良いものへと変革させる「デジタルトランスフォーメーション」を推進するため、令和4年3月に「おかげDXビジョン」を策定し、デジタル技術の活用方針や基本的な考え方を示した。



【質問】 デジタル技術を今後どのように活用して行くのか、具体的な内容を伺う。

【回答】 デジタル技術を活用して、人口減少や高齢化に伴う地域の課題が解決されることが重要。本市でも人口減少が始まっており、北斗台と滝団地で行ったアンケートでは、今後、高齢化など

で車の運転ができなくなった場合、通院や買い物等への不安が高いことがわかった。既存のバス機能を補完するような個人のニーズに沿った移動の仕組みを考えて行く。

また、デジタル化に関心の高かった町内会に対し、今後、ヒアリングなどを行った上で、「モデル町内会」を選定し、通信環境の試行導入を始め、町のニーズに沿った活用支援に取り組んで行く予定。



6月定例会トピックス !!

○岡崎公園活用業務

大河ドラマ館の来場者に向けて、岡崎公園の多目的広場及び有料施設(能楽堂・巽閣・城南亭)を活用した民間事業者主体のイベントの支援を行う。

- ・イベントの環境整備及びPR支援
- ・地元事業者のチャレンジショップの展開「岡崎応援プロジェクト」
- ・本市出身の著名人を活用した年間プロモーションの実施



○農業者緊急支援業務

明治用水頭首工漏水の影響を大きく受けた明治本流用水の供給地域の農地で、用水を利用して営農する農家の不安が少しでも和らぐ支援金を支給する。

- ・影響のあった農地の経営規模により、以下3区分に分けて支給

営農面積 3,000 m²未満 1万円
 3,000 m²以上 100,000 m²未満 3万円
 1,000,000 m²以上 10万円



「原のりひこ」に声を届けよう!

原のりひこ後援会 LINEアプリ登録方法

①右のQRコードから**友達登録!**



②友達登録後、ガイダンスに従い手続きをお願いします!

③**ご意見**や**ご要望**など**送信**ください!

